

「8兆円」の眠る着物に新たな命 反物に変え輸出も

着物の事業環境が厳しさを増すなか、日本リユースシステム(東京・港)は24～25年に着物の回収を大幅に増やした。24年は約15万着、25年は約18万着を引き取った。

着物を回収して反物に加工する事業を始めて約10年たつが、直近2年の回収量はそれ以前の約8年の4倍にのぼる。

「ゴミにしたいくない」思いをくみ取る

23年に開発した専用回収キットが実績の積み重ねに寄与した。以前は古着を集める中で着物も扱うという位置づけだったが、専用の回収キットを5000円で売る手法を新たに導入した。顧客に物的な見返りはないものの、キットを買う顧客は後を絶たない。

日本リユースの担当者は「思い出の残る着物をごみにしたいくない顧客の需要を取り込み、好調に回収できている」と手応えを語る。

キットの利用者はインターネットの専用ページから購入し、届いた回収袋に着物や帯、和装小物を詰める仕組み。利用者があらかじめ指定した時間に集荷にくる運送会社の社員に回収袋を渡せば、日本リユースに届く。



日本リユースシステムは障害者らが働くモンゴル工場で着物を反物に加工する



日本リユースシステムは着物を反物に作り変え、フランスなどに輸出している

同社は集めた着物を障害者やシングルマザーらが働くモンゴルの工場に送り、反物に加工する。縫製工場の就業者が多いことや、湿度が低く布にカビが生えにくい気候を考慮してモンゴルで着物を反物に加工している。

反物は日本特有の着物の柄を評価する欧米の生地販売会社などに輸出する。事業の売上高は非公表だが、担当者は「欧米では洋服やランチョンマットなどの材料に使われている。社会的な立場の弱い人の自立を支援できれば」と話す。



9月8日

火曜日

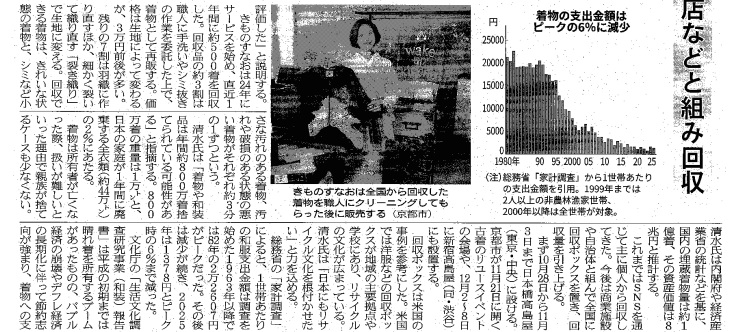
眠る着物に新たな命

小さくても勝てる

きものすなお

日本リユース

手入れ後3万円で再販 反物に変えて欧米輸出



後を絶たない。弱者の自立支援

着物の事業環境が厳しさを増すなか、日本リユースシステム(東京・港)は24～25年に着物の回収を大幅に増やした。24年は約15万着、25年は約18万着を引き取った。

着物を回収して反物に加工する事業を始めて約10年たつが、直近2年の回収量はそれ以前の約8年の4倍にのぼる。

23年に開発した専用回収キットが実績の積み重ねに寄与した。以前は古着を集める中で着物も扱うという位置づけだったが、専用の回収キットを5000円で売る手法を新たに導入した。顧客に物的な見返りはないものの、キットを買う顧客は後を絶たない。

日本リユースの担当者は「思い出の残る着物をごみにしたいくない顧客の需要を取り込み、好調に回収できている」と手応えを語る。

キットの利用者はインターネットの専用ページから購入し、届いた回収袋に着物や帯、和装小物を詰める仕組み。利用者があらかじめ指定した時間に集荷にくる運送会社の社員に回収袋を渡せば、日本リユースに届く。

同社は集めた着物を障害者やシングルマザーらが働くモンゴルの工場に送り、反物に加工する。縫製工場の就業者が多いことや、湿度が低く布にカビが生えにくい気候を考慮してモンゴルで着物を反物に加工している。

反物は日本特有の着物の柄を評価する欧米の生地販売会社などに輸出する。事業の売上高は非公表だが、担当者は「欧米では洋服やランチョンマットなどの材料に使われている。社会的な立場の弱い人の自立を支援できれば」と話す。

カビが生えにくい気候を考慮してモンゴルで着物を反物に加工している。反物は日本特有の着物の柄を評価する欧米の生地販売会社などに輸出する。事業の売上高は非公表だが、担当者は「欧米では洋服やランチョンマットなどの材料に使われている。社会的な立場の弱い人の自立を支援できれば」と話す。